

### 1. 教育の責任

1) 精神看護学概論：精神看護の基本となる人の心のはたらき、脳の解剖生理、人格の発達過程を理解した上で、精神保健上の健康や障害について理解を促す。また、精神障害に起因する「生きにくさ」や対象者が抱く思いについて、対象者の立場に立った共感的理解を促す。その上で、精神障害者を支えるリカバリーやストレンクスなどの概念について理解し、看護師としてどのように支援すべきかを考える学習機会を提供する。

2) 地域社会のメンタルヘルスと多様性：現在の日本での精神医療を取り巻く課題とメンタルヘルスの関連について海外の精神医療の取り組みなどと比較しながら、日本での精神保健福祉法などの施策や支援についてグローバルな視点で考えることができるように理解を促す。また、精神科の歴史的背景を踏まえ、人権擁護などへの配慮ができる看護師として、どのようなケアができるのかを考える発展的な学習機会を提供する。

### 2. 教育の理念

精神疾患や精神障害は、「病気や障害が目にはみえない」「病気や障害に流動性がある」との主に2つの特徴を持っている。この難しい特性を理解し、可視化し具体的なケアとして実現するための方法を考え、具体的かつ効果的な看護ケアを実現することを教育の理念としている。

### 3. 教育の方法

「精神看護学概論」「地域社会のメンタルヘルスと多様性」と共通して、

- 1) 教科書とパワーポイント教材の併用
- 2) 担当教員による体験事例の紹介
- 3) 国家試験対策問題

などを取り入れている。

また、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱの演習や精神看護学実習へと学年を経ることに学習進度に応じた対応ができるように、シラバス作成にも工夫を行っている。

### 4. 教育の成果

「精神看護学概論」「地域社会のメンタルヘルスと多様性」で使用した講義用のパワーポイント資料を「精神看護援助論Ⅰ」、「精神看護援助論Ⅱ」の演習で使用したり、「精神看護学実習」での事前学習の強化に用いたりして学生の学習面においての連続性と継続性にも寄与することができている。

### 5. 改善への努力と今後の目標

難しい精神医学用語への理解や多様な看護ケアの理解を促しながら、一方ではこれらの内容を英語で説明することなどを今以上に積極的に取り入れ、国際看護学部としての特色に応じた講義資料の作成や講義方法を検討していく必要がある。

### 【添付資料】

なし